（第3種郵便物認可）　点字毎日活字版　　2020年（令和2年）6月18

シネマチュプキ営業再開

ユニバーサルシアター「CINEMA Chupki TABATA」（東京都北区）が東京都の休業要請解除を受け、13日から営業を再開。新型コロナウイルスの感染拡大による臨時休館中は経営難に陥ったが、運営団体「City・Lights」の代表、平塚千穂子さんは「サポーターから総額550万円の支援があり、無事再開できました」と感謝の言葉を述べた。

6月の上映作品は、10時半から脳性まひの歌人を追った「えんとこの歌　寝たきり歌人・遠藤滋」、12時半から死別した家族への思いを伝える「風の電話」、15時20分から聴覚障害者と歌を取り上げた「うたのはじまり」、17時10分からバンド活動に励む不良たちを描いたアニメ「音楽」の4本。

入館時に体温測定を取り入れたり、館内での食事を禁止したりと感染防止策にも余念がない。座席を一つ飛ばしでチケット販売する関係で、上限が10席になったため予約を勧めているほか、上映開始間近の来館を促している。詳しくは、Chupki（03・6240・8480）へ。【澤田健】

歩行ガイド再生アプ

ズーム使い「ナビレ

望月優さんに60人が

器や拡大読書器などを扱う「アメディア」（東京都練馬区、望月優社長）が2016年に発売したアイフォーン用アプリ。昨年からは、全盲の望月さん（62）が理事長を務める一般社団法人「音声ナビネット」が管理し、無料で提供している。音声ガ

PS（全地球測位システム）の位置情報を基に、目的地までのルートを音声で案内する。

音声ナビネットが主催したセミナーでは、望月さんがアプリを使って地図データが登録されている「ナビ広場」にアクセス。栃木県内のデータをもとに説明

る。また、曲がり角などに付けられている「マーク」では、別のメロディーが聞こえる。マークがあると思われる方向にアイフォーンを向けると、本体が振動するため、進む

の再生だけもでき、事前の確認にも使える。

地図データは、約80人の協力者が、専用ソフト「ナビエディット」で作成。ユーザーは、利用した感想をナビ広場に投稿したり、地図

た。

音声ナビネットは、地図データの普を目的に正会員や賛会員、ナビ広場に広を有料で掲載するサ

ーターを募集して

る。セミナーの様子は

ホームページ（http

//www.amedia.co.j

product/smartpho

e/app/navirec/inde

.html）に公開。

7月5日を「ナビ、

コの日」とし、午後2

から2時間程度、オ

ラインで東京都内の

図データを聞く「お

歩会」を予定している

問い合わせは音声ナ

ネット（03・399

・7200、contac

@vnavinet.org）へ。

ナビレコアプリの画面（右）と望月優さん

音声解説付き映画配信

パラブラが25日から

登場人物の動きや場面の様子を解説した音声ガイド付き映画の上映が広がっている。ただ、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、営業休止や縮小を続ける映画館は多い。そんな中、インターネットで音声ガイド付き映画を有料配信する企画「うちでドキュメンタリー映画を観よ！」をパラブラ（東都中野区）が6月25から7月5日に実施する。音声ガイド付きドキュメンタリー映